

2026年 草の根育成助成 助成事業紹介

分野	障がい者の支援を目的とする事業/児童・青少年の健全な育成を目的とする事業
事業名	八王子LD(学習障害)理解促進・合理的配慮普及事業
団体名	みんなの学び流星群from八王子
実施場所	東京多摩みらいメッセ 会議室/八王子市内市民センター 会議室 等
地域の課題	学習障害(LD)は知的発達に遅れがないため「なまけ」「努力不足」と誤解されやすく、適切な支援が届かないまま自己肯定感を損なう子どもが少なくありません。保護者も「学校にどう伝えればよいかわからない」と孤立し、その心理的負担を受け止める場も八王子市内には十分でないことからの出発です。
事業紹介	本事業は、LD・学びづらさのある子どもの保護者を対象とした、全3回の連続講座「子どもを変えなくていい。」です。 第1回:なぜ学校がしんどいのかをLD・不登校・2E(ギフテッドと発達障害の併存)の視点から学び、子どもへの見方を変える回。第2回:合理的配慮の求め方など、学校との具体的な連携方法を学ぶ回。第3回は公認心理師を招き、保護者が安心して感情を出せる「心をほどく場」とします。各回には当団体の会員(当事者の保護者)が「わが家の気づきと工夫」を語る時間を設け、専門家の知識と当事者の声を組み合わせます。 子どもを「できるように変える」のではなく、周囲の見方と環境のほうを変えていく—その視点の転換を、3回かけて体験できる構成としています。診断の有無は問わず、「もしかして」と感じ始めた段階の保護者にも届く講座を目指します。
担当者コメント	私たち自身、「なんでできないの」と我が子を責め、そのあとで自分を責める夜を過ごしてきました。情報は届けられても、保護者の心のケアまでは、同じ当事者である運営者だけでは担いきれません。だからこそ、専門家の知識と当事者の声、そして「こころの内を出しても良い場所」を一つの講座に込めました。声を上げられずにいる家庭にも、少しずつ届く活動にしていきたいと考えています。
団体紹介	LDのある子どもを持つ保護者が「ひとりで、抱えなくていい」を合言葉に活動しています。地域社会で安心して暮らせる「Neuro-DiverCity八王子」の実現を目指し、子どもたちの多様な学びを探りながら、ピアトークができる居場所づくりに取り組んでいます。ワークショップ、つながるカフェ、ICT講座、映画上映会などを実施しています。2025年12月に、LIFT(東京都教育員会発行)を市内全小中学校に1冊配布、保護者から集めた困りごとをまとめた報告書を八王子市教育委員会に提出しました。 *令和8年度からの新事業のため、写真は令和9年度から報告します。